

2月5日（土）第37回名東高校スピーチコンテスト（MEITO SR.HIGH SCHOOL'S 37th ANNUAL ENGLISH SPEECH CONTEST）を本校体育館にて、感染症対策に十分配慮した上で実施しました。

この行事は、日常の授業で身に着けた英語運用能力を活かし、学習成果をスピーチという形で発表する本校独自の行事です。普通科・国際英語科問わず全校生徒に募集を行い、校内オーディションを経たのちにコンテストへと臨みます。選出された出場者は、スピーチ・暗唱の各部門で日頃の学習の成果を発揮すべく練習に取り組んできました。スピーチコンテスト当日は、外部から5名（大学から3名、名古屋ユネスコ協会から2名）の審査員をお招きして、各部門の優秀者を選考するとともに、5つのグループによる発表も行いました。レシテーション（暗唱）部門10名とSDGsをテーマにしたスピーチ部門9名より、各部門の1位～3位とユネスコ協会会長賞が選考された後、審査員からご講評や今後に向けてのアドバイスをいただきました。審査員の方も選ぶのが非常に難しかったとコメントされていた通り、どの発表もレベルが非常に高く、本校での学習の成果が十分に発揮された素晴らしい発表になりました。



各部門の結果は以下の通りです。

レシテーションの部（3分以内の自由選択による英文の暗唱）

1位 1 L 下野まとい “Be not Defeated by the Rain”

2位 1 F 荒川真衣子 “Actions are Better than Words”

3位 1 L 佐藤 麗香 “We All are Perfectly Imperfect”

スピーチの部（SDGsに関する自作による5分以内の原稿のスピーチ）

1位 2 L 両角 優衣 “Small Acts of Kindness Create a World of Change”

2位 2 L 中垣 姫花 “Reduce the Cost of Terminal Disease Treatment to Zero”

3位 2 L ナット珊瑚沙 “Treat Them Better”

ユネスコ協会会長賞

2 L 島田 怜奈 “Normality”

その他に、国際英語科1年・2年の生徒による英語グループパフォーマンスを行いました。